

# 伸ばそう！ 子どもの学力

～子どもの学びを支える家庭教育～



子どもの学びを支えるためには、学校と家庭が連携して、基本的な生活習慣を確立し、子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図ることが大切です。

平成28年度全国学力・学習状況調査の三島市の結果から、生活や学習に関する習慣と学力との関連についてわかったことをもとに、家庭で大切にしてほしいことをお知らせします。

- <調査概要> ■調査日 平成28年4月19日(火) ■調査対象 小学校6年生 中学校3年生  
■調査内容 ○教科に関する調査(国語、算数・数学)  
A問題…主として「知識」に関する問題 B問題…主として「活用」に関する問題  
○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査(学校対象・児童生徒対象)

## 家庭で大切にしたい3つのポイント

- 1 基本的な生活習慣
- 2 家庭での学習習慣
- 3 家族とのコミュニケーション

親子でチェック  
してみよう。

- 生活のリズムが整っている。
- 毎日、学校の宿題等、時間を決めて家庭学習に取り組んでいる。
- 家族で、会話をしている。



我が家のルール

# 基本的な生活習慣



「朝食をとること」や「同じ時刻に寝たり起きたりすること」など、規則正しい生活習慣を身に付けることは、とても大切です。また、時間を守って生活すると、生活のリズムが整います。

規則正しい生活習慣は、学習への集中力を高め、学力向上につながります。

## ★生活のリズムを整えましょう！

朝食をとることで、脳が活性化し、一日を元気に過ごすことができます。また、授業への集中力も高まります。

同じ時刻に寝たり起きたりするなど、規則正しい生活を心がけましょう。

朝ごはんを食べると集中できるんだって！



## ★時間を上手に使いましょう！

テレビゲームや携帯電話、スマートフォンなど、長時間の使用は、家庭学習や睡眠時間に影響を及ぼし、生活のリズムがくずれる原因となります。

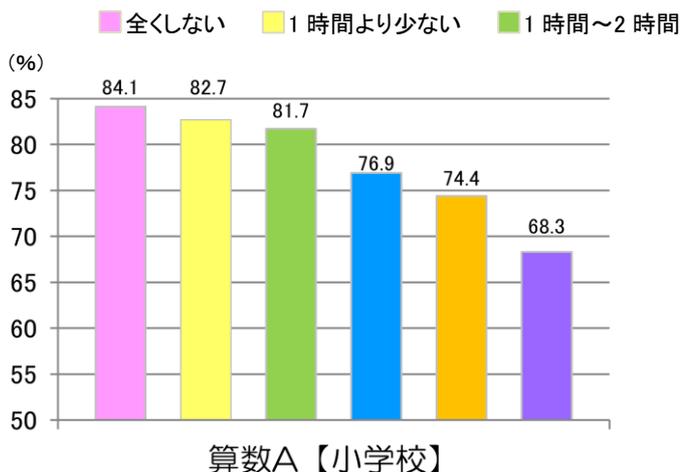
使用時間や場所などについて、親子で話し合っってルールを決めましょう。

ルールを決めることで、時間を上手に使いそうだね！

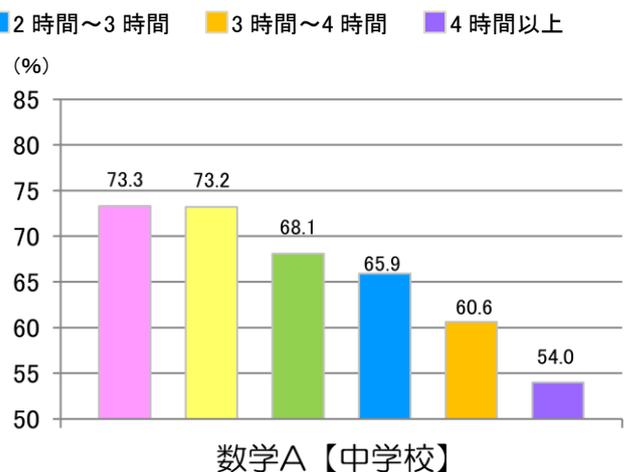


テレビゲームや携帯電話・スマートフォンの使用時間が短い子は、正答率が高いね。

「普段、1日当たりどのくらいの時間、テレビゲームをしますか。」の回答と正答率(%)



「普段、1日当たりどのくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしますか。」の回答と正答率(%)



# 家庭での学習習慣



学校の宿題や予習・復習を行うなど、家庭での学習習慣を身に付けることは、とても大切です。家庭学習を行うことにより、学習内容の理解が深まったり、今後の学習意欲が高まったりすることにつながります。

また、興味があることや疑問に思ったことなど、調べる習慣を身に付けましょう。

## ★宿題にしっかり取り組みましょう！

家庭学習として、まずは宿題に取り組むことが大切です。時間・場所を決めて、取り組むようにしましょう。

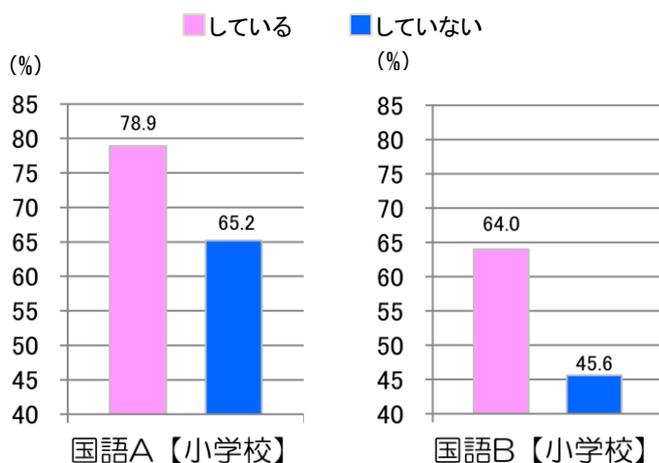
また、机の上を片付けて、学習しやすいように整理し、学習環境を整えましょう。



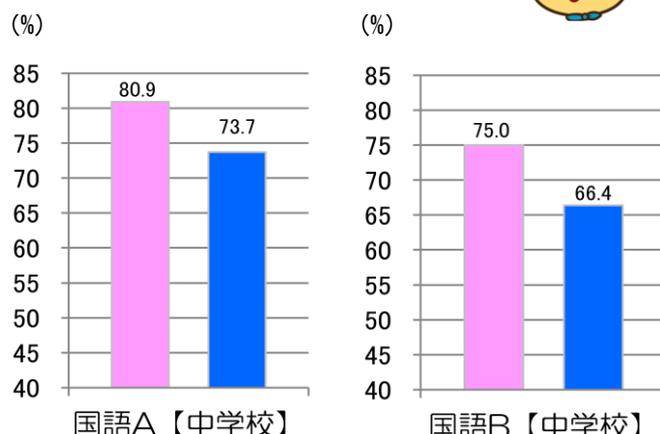
## ★計画的に学習を進められるように見守りましょう！

学年	子どものかかわりの例
小学校 1・2年	声をかけて、子どもが困っているときは、一緒に取り組みましょう。最後までできたときは、たくさんほめましょう。
小学校 3・4年	学習内容が難しくなり、つまずきが始める頃です。理解状況を把握しましょう。苦手なところができるようになったら、たくさんほめましょう。
小学校 5・6年	自分なりに考えて学習を進めているか声をかけて、確認しましょう。宿題以外の学習に自主的に取り組んでいる場合は、たくさんほめましょう。
中学校 1・2年	家庭での時間の使い方について話し合い、ルールを決めましょう。早い時期から進路について話し合い、目標を決めましょう。
中学校 3年	進路を見据えた学習ができているか声をかけて、確認しましょう。目標の実現に向けて努力している姿をしっかり見守り、認めましょう。

「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の回答と正答率(%)



自分で計画を立てて勉強している子は、正答率が高いね。



# 家族とのコミュニケーション



子どもの豊かな心を育むには、家族とコミュニケーションを図ることが、とても大切です。

親子で話したり、一緒に食事をとったりするなど、ふれあう時間をつくりましょう。

## ★コミュニケーションをとりましょう！

学校での出来事（学習・行事等）やニュース等を話題にしたり、将来の夢について話し合ったりしましょう。

家族との会話が増えることで、子どもへの理解が深まります。

学校で楽しかったことなどを、家族で話そう。



## ★よいところを見つけ ほめましょう！

子どものよいところを見つけ、普段からの頑張りを認めることで、「自分には、よいところがある」と子ども自身が感じられるようになります。自分のよさを知ることは、自信をもつことにつながり、様々なことに挑戦する気持ちを育みます。



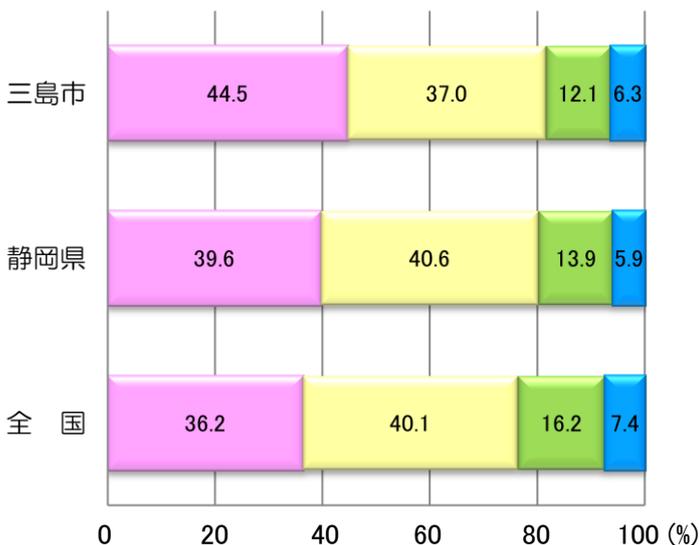
「自分には、よいところがあると思いますか」の回答率（％）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる  
■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

三島の子は、県や全国よりも自分のよさを知っている子が多いね。もっともっと増えていくといいね！



【小学生】



【中学生】

